

きゅうしよくだより

令和8(2026)年
大阪市立木川南小学校
1月号

ぜんこくがっこうきゅうしよくしゅうかん 全国学校給食週間について知ろう

「全国学校給食週間」は、戦争などによって中断されていた給食が再び始まったことを記念して定められました。現在の給食は、ごはんやパンに魚、肉、豊富な野菜、牛乳、そしてくだものがつくなど、栄養バランスのよい食事です。

今月は、給食の歴史を知り、生きものの命をいただくことや給食に関わる人たちのことなど、毎日食べている給食について考えてみましょう。

がっこうきゅうしよく 学校給食の歴史

めいじ ねん
明治22(1889)年

やまがたけん ひろ も
山形県で昼ごはんを持って来られない子どもたちのために昼ごはんを出したことが、学校給食の始まりといわれています。その後、にっぽんじゅう ひろ 日本中に広がりました。



しょうわ ねん
昭和16(1941)年ごろ～

せんそう はじ しだい た ふそく
戦争が始まると、次第に食べものが不足し、給食を中断しないといけなくなりました。

しょうわ ねん がっ か
昭和21(1946)年12月24日

がっこうきゅうしよくかんしゃ ひ
【学校給食感謝の日】

せんご きぞう
戦後、アメリカから寄贈された
だっしふんにゅう こむぎこ つか きゅうしよく
脱脂粉乳や小麦粉を使った給食が
ていきよう
提供されました。



げんざい きゅうしよく
現在の給食

しょうがくせい ちゅうがくせい けんこう まも せいちょう
小学生や中学生の健康を守り、成長するために
ひつよう えいようそ
必要な栄養素をバランスよくとることができるよう
かんが
に考えられています。

きゅうしよく とお しょく
給食を通して、食について
まな きかい
学ぶよい機会となっています。



がっ 1月のこんだてより

大切に食べよ



りょうり ねが
～おせち料理にこめられた願い～

しょうがつ ことし けんこう しあわ す
正月には、「今年も健康で幸せに過ごせます
ように」と願って食べる料理がたくさんあります。

がっ にち か
1月13日(火) ごまめ

たづく よ こめ しょくもつ ほうさく ねが
「田作り」とも呼ばれて、米や食物の豊作を願います。



がっ にち か こうはく
1月27日(火) 紅白なます



みずひき
水引

しろいろ あかいろ みずひき いみ
だいこんの白色とにんじんの赤色で、水引を意味して、
しんねん いわ
新年を祝うめでたさを表します。

くろまめ に
黒豆の煮もの



はたら ねが
「まめまめしく(まじめによく)働けますように」と願います。

がっ にち もく
1月29日(木) くりきんとん



ことし ゆた せいかつ おく ねが
「今年も豊かな生活が送れますように」と願います。

きゅうしよく どうじょう いま しゅん や さい 給食に登場する今が旬の野菜

★みずな★

がっ は つ か か
1月20日(火) みずなの煮びたし

むかし きょうと ふ さいばい きょうや さい さむ
昔から京都府で栽培されていた京野菜です。寒さ
きび あき お ふゆ しゅん
が厳しくなる秋の終わりから冬にかけて旬(たくさん
とれて、おいしい時期)をむかえ、京都府では「みずな
が店に出るようになると、冬本番」といわれています。

